

平成 20 年版通商白書について（概要）
—新たな市場創造に向けた通商国家日本の挑戦—

平成 20 年 7 月

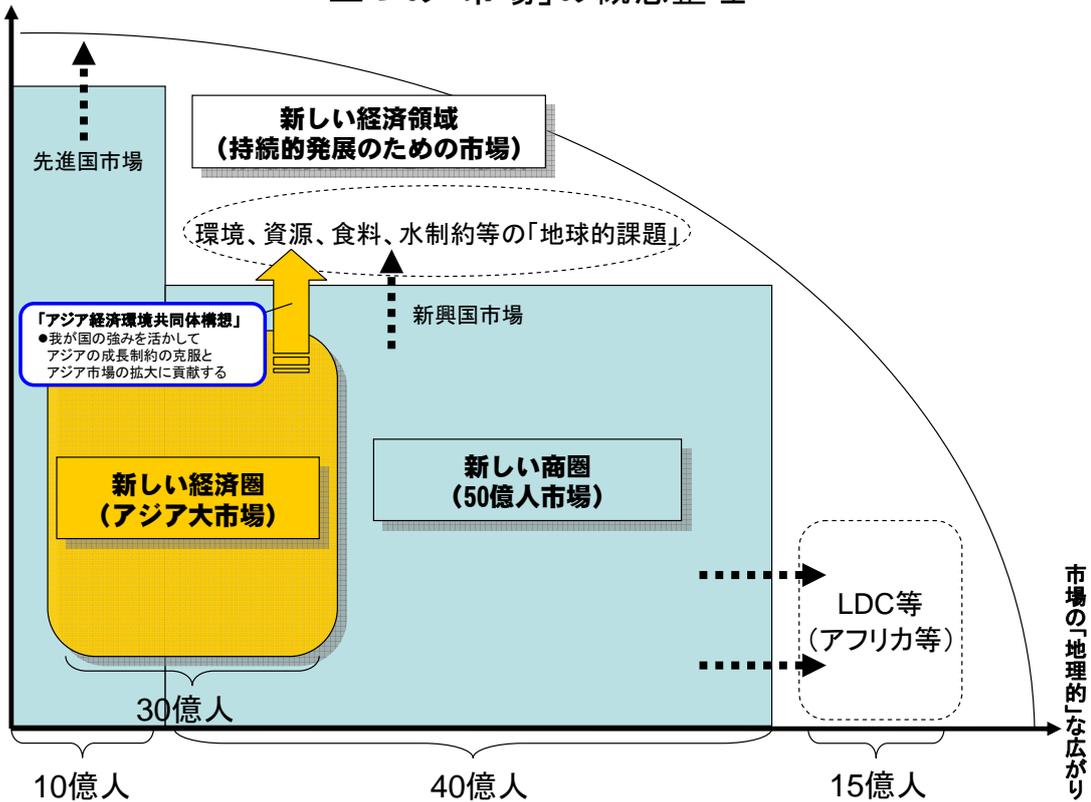
経済産業省

ポイント

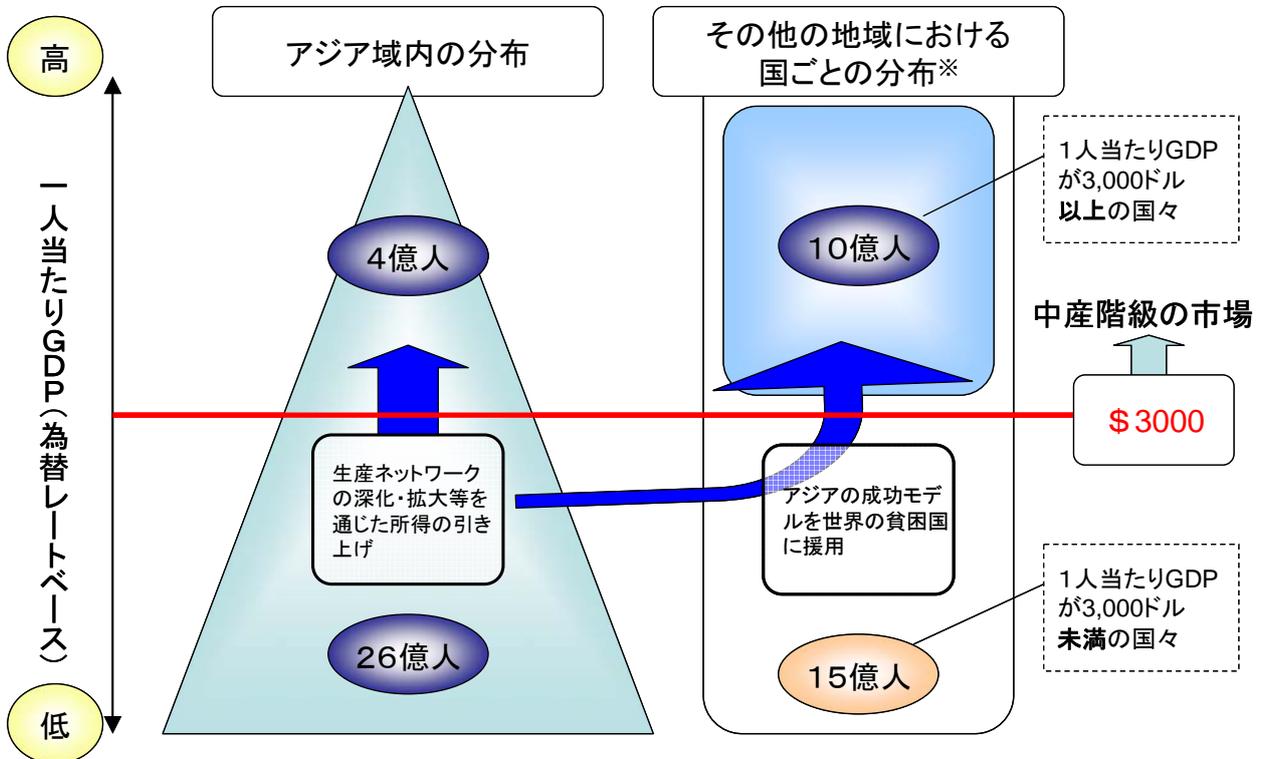
- ・ これまで経済成長を牽引し、グローバル化によって新興国の経済発展を促してきた米国経済が調整局面に入ったことで、世界経済は大きな転機を迎えている。
- ・ 我が国としては、アジアとの雁行型の成長モデルの延長線を越えて、引き続き創造拠点としての中核的機能を発揮しつつ、アジアとともに世界経済の持続的発展を先導する、新たな「発展戦略」が求められている。
- ・ そこで、世界経済の新たな発展の基軸となり、また、我が国産業の新たな事業展開の「場」と「機会」を提供する、三つの「市場創造」を主導する国家戦略を展望する。
 - ① 世界経済の新たな好循環の原動力となる「50 億人市場」（新しい商圏）
 - ② 世界の経済発展の基盤となる「アジア大市場」（新しい経済圏）
 - ③ 地球的課題への対応を促進する「持続的発展のための市場」（新しい経済領域）
- ・ 「アジア経済・環境共同体構想」は、アジアの持続的発展のための共通課題である環境・資源制約、都市化、高齢化といった問題に対し、我が国が「アジアの課題先進国」として、その解決に先導的に取り組み、その中で培った技術や社会システムを広く地域に展開するものであり、我が国の新たな発展戦略の基盤である。我が国は、APEC の議長国となる 2010 年を一つの道標として、自らの構造改革を含めて、新たな世界経済の枠組みづくりを積極的に主導する必要がある。

市場の「質的」な広がり

三つの「市場」の概念整理



50億人市場のイメージ



50億人市場 = 先進国 (10億人) + アジア域内 (30億人) + その他地域の中産層 (10億人)

※先進国を除く